

みやきた新聞
令和7年2月26日
2月号
発行:宮古北高等学校

令和六年度

「いわての復興教育」児童生徒実践発表会

一月三十日(木)トーサイクラシックホール岩手 大ホールで行われた「いわての復興教育」児童生徒実践発表会で本校一年の上坂美月さんと平賀桜花さんが発表及びパネルディスカッションに臨んで来ました。この発表会は、県内児童・生徒が、震災津波の体験から得られた三つの教育的価値(いきる・かかわる・そなえる)を具体化した実践活動を発表し、互いに学びを交流することで、震災津波の教訓を語り継ぎ、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材の育成を推進することを趣旨に毎年行われているものです。



二人は今年度一学年が実践した防災学習、トークフォーカシング、たろう魅力発信プロジェクトについて発表し、続くパネルディスカッションでは、パネリストからの質問に堂々と自分の考えや意見を述べていました。トーサイクラシックホール岩手・大ホールでの開催で聴衆も多い中、緊張したことを思いますがしつかりやり切り、県教育委員会の方々からお褒めの言葉を頂きました。放課後学校に残り、何度も練習した成果を出し切ってくれて、担当した教諭も喜んでいました。

発表に臨んだ二人とも「あんなに大きな会場で大勢の人を前に発表することは初めてでも緊張した」そうですが、平賀さんは「学習した内容が思い出されて良い経験になった」、上坂さんは「大勢の人の前で発表できて自分の力になった」と成果を挙げてくれました。また、二人とも「練習も一生懸命やったし、かなり達成感がある」と力強く答えてくれました。練習から本番まで気が休まらない日もあったことと思います。二人とも本当にお疲れ様でした。

宮北の森⑩～保健委員会発表～

「睡眠について考えよう」

二月十九日(水)視聴覚室にて、「宮北の森⑩」が行われました。今回は「睡眠について考えよう」と題し、保健委員会からの発表でした。日本人の平均睡眠時間や平均起床時間、睡眠の役割、睡眠不足の悪影響、ブルーライトが睡眠に及ぼす影響等を調べ、元気に発表してくれました。

私たちの心身の健康にとって、睡眠はとても重要です。今回の発表で学んだことを活かし、良質な睡眠を取れるようないろいろ気をつけていきたいと思えます。保健委員会のみなさんありがとうございました。



金融経済セミナー

二月二十日(木)二校時、三年生対象に「金融経済セミナー」が行われました。金融リテラシーを身に付けるための家計管理の基本やライフプラン、税金の仕組み等をご講義いただきました。三年生にとっては、卒業後にお金に困らないために知っておきたい内容が多く、就職進学を問わず、とても有意義な機会となりました。

伊茂野愛里さんは「闇バイトやクレジットの事、貯蓄について知れて良かった。今後の参考になった」、鳥居心さんは「今まではお金のことを深く考えることなく、無駄遣いが多かった。これからはお金の管理をしっかりしていきたい。」とそれぞれ感想を述べてくれました。ご教授頂いたことを、今後に生かしてください。



着こなしセミナー

二月十三日(木)二校時、三年生対象に「着こなしセミナー」が行われました。スーツの格式についての説明をいただいた後、代表生徒さん男女二名ずつにスーツを着てもらいました。スーツに身を包んだ代表生徒さんをモデルに、着こなしのポイントをご教授いただきました。後半は男子がネクタイの結び方、女子はメイクの仕方を教えてもらいました。

根市奈々さんは「場をわきまえたメイクを考えなければならぬと感じた。また、スーツにも色々な種類があることも新しい発見だった。」と教えてくれました。



お知らせ

学校ウェブページ、ノートへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

学校ウェブページ



ノートのページ



宮古北高校では、体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力の育成に努めており、また、職業理解を深めるフィールドワークや、地域での農業体験を行うなど、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。学校規模としては大きくはありませんが、生徒が主体となり力を合わせて教育活動を展開しています。生徒のボランティア活動を充実させ、地域に貢献して参りますので、ご支援ご協力をお願い致します。

令和七年二月二十六日
文責 宮古北高校副校長